投稿する人のために

ひがし大雪自然館研究報告は，大雪山国立公園およびその周辺の自然史に関する論文，短報，総説，資料，雑録等を掲載します（種別の区分はありません）．投稿希望者はひがし大雪自然館へご連絡ください．

本誌に掲載された論文・図表等の著作権はひがし大雪自然館に帰属します．

・原稿は随時受け付け（原則 1 月末日締め切り），年 1 回，3 月末に発行します．原稿は受付順に掲載しますので，予定ページを超過した場合，掲載を次号へ延期させていただく場合があります．
・ひがし大雪自然館研究報告は A4 モノクロ印刷ですが，1 原稿につき 1 ページカラーにすることができます．
・本文は Word 等で作成し，以下のものを付けてください．
　・タイトル（和文と英文）
　・著者名（和文と英文）
　・所属及び住所（和文と英文）
　・アブストラクト（英文）
　・本文（和文もしくは英文）
　・図表キャプション（和文と英文，もしくはどちらか）
・図表及び写真は，PDF もしくは JPEG 形式で受け付けています（難しい場合はご相談ください）．図表及び写真の仕上がりサイズは，1 段幅で最大 8cm，2 段幅で最大 16.6cm となりますので，図表作成の参考にしてください．
・本文の句読点，引用方法，引用文献等のスタイルは，過去のひがし大雪自然館研究報告を参考にしてください．
・掲載された著者には研究報告 1 部，PDF を差し上げます．ご希望の場合は別刷を 50 部まで無料で差し上げます．それ以上の部数は著者負担となります．
・発刊後 1 年経過した論文は，ひがし大雪自然館ホームページで電子公開いたします．
・原稿（本文，図表写真）はひがし大雪自然館　info@ht-shizenkan.com　に送付してください．

■文献の書き方

「,」「.」「( )」などの記号はすべて半角を使用し，スペースも半角を用いる．

① 和文論文［著者名，発行年．論文名．雑誌名，**巻**(号)：ページ.］

※巻ごとの通しページになっている場合は号を省略し，通しページを書く

※第○号，第○集などの場合は，その番号をボールドで表記する

例）乙幡康之・古戸正行・古戸幸子, 2019．十勝の黒曜石マップ 2019．ひがし大雪自然館研究報告, **6**: 27–32.

② 和文単行本［著者名，発行年．単行本名．出版社名，総ページ］

例）国立天文台(編), 2000．理科年表平成 13 年版．丸善, 1064p.

書籍の一部の場合

例）小疇 尚, 1994．氷期のたまもの十勝平野と日高山脈．小疇 尚・福田正巳・石城謙吉・酒井 昭・佐久間敏雄・菊池勝弘(編)，日本の自然地域編 1 北海道．岩波出版, 114–125.

③ 欧文論文［著者名，発行年．論文名．*雑誌名（イタリック）*，**巻数(ボールド)**：ページ.］

※雑誌名は略称が存在する場合略称を用いる

例）Constable, C.G. and Johnson, C.L., 1999. Anisotropic paleosecular variation models: Implications for geomagnetic field observables. *Phys. Earth Planet. Inter.* **115**: 35–51.

④英文単行本［著者名，発行年．*単行本名（イタリック）*，出版社名.］

例）Canup, R.M. and Righter, K., 2000. *Origin of the Earth and Moon*. University of Arizona Press.

書籍の一部の場合

例）Abe, Y., Ohtani, E., Okuchi, T., Righter, K. and Drake, M., 2000. Water in the early Earth. In: Canup, R.M. and Righter, K. (Eds.), *Origin of the Earth and Moon*. University of Arizona Press, 413–433.

（2025.2.11 改訂）